

なごや東山の森づくり（愛知県・名古屋市）



湿地の回復作業の様子



子ども東山の森づくり隊

「なごや東山の森」は東山公園と平和公園からなる国内最大級の都市内緑地であり、市民共有の貴重な財産です。しかし、かつては里山として利用されていた樹林も、近年の都市化の進展とともに荒廃が進み、1980年代頃から市民グループの自発的な活動により、森の保全・育成への取組みが始まりました。「森を守り育てる」「森と関わる」「森づくりを生かす」をテーマに、毎月1回の定例森づくりや自然観察会などを行い、里山づくりに取り組んでいます。現在では、「なごや東山の森」は都市に残された貴重なみどりであると住民に認知されるようになり、また人と自然が交流する場としての役割を担っています。